

令和元年 10 月 5 日

生物科学学会連合加盟学協会ならびにオブザーバー各位

生物科学学会連合代表 小林武彦

大学入学試験「生物基礎」及び「生物」における用語の扱いについて（お願い）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は本連合の活動にご理解ご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年 7 月 8 日に日本学術会議生物科学分科会より、「高等学校の生物教育における重要用語の選定について（改訂）」が報告されました。これは、同分科会が 2017 年に作成した「生物重要用語リスト」を、生物科学学会連合加盟学協会からの意見を参考にした上で見直し、最重要 251 語、重要 243 語の合計 494 語を選定したものです。高等学校の生物教育で扱われる用語の多さが、学習上の障害になっているばかりでなく、大学入学試験等にも深刻な影響を与えてきたことを是正するために、大きな効果が期待されています。この報告に関する生物科学学会連合の対応について協議の結果、以下のような要望書を表出することが第 20 回定例会議で承認されました。

つきましては、貴学協会員の皆様に連絡ならびに周知をお願い致します。

なお、本要望は大学等の高等教育機関および大学入試センターにも送付いたします。

敬具

記

生物科学学会連合からの要望

生物科学学会連合は、日本学術会議が行った生物重要用語の選定を支持します。

つきましては、生物科学学会連合加盟学協会の会員は、勤務先の大学入学試験等の「生物基礎」及び「生物」の作問者である場合、原則として下記の 1～5 に従って問題を作成していただきたく要望いたします。

1. 直接的に用語を問う場合は、日本学術会議の提案した「高等学校の生物教育における重要用語の選定について（改訂）」*の重要用語 494 語の中から出題する。
*URL : <http://www.sci.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-h190708.pdf>
2. 解答を導く際に、重要語合計 494 語以外の用語の理解が必要な場合は、リード文中に解説や注釈をつけるなどの配慮をする。
3. 作題や問題チェックの際には、重要用語 494 語のリストを参照して、上記 1 と 2 の指針に従って入試問題が作成されていることを確認する。
4. 2020 年度入試問題については作問完了のものもあることを配慮して可能な範囲内で、2021 年度以降の入試からは着実に実施する。
5. 現役受験生が使用している教科書に未掲載の用語名については、教科書に掲載されている用語を優先する。教科書が改訂された後は、掲載された用語を優先して使用する。

加盟学協会

個体群生態学会、染色体学会、日本味と匂学会、日本遺伝学会、日本宇宙生物科学会、日本解剖学会、日本細胞生物学会、日本時間生物学会、日本実験動物学会、日本植物学会、日本植物形態学会、日本植物生理学会、日本進化学会、日本神経化学会、日本神経科学学会、日本人類学会、日本生化学会、日本生態学会、日本生物教育学会、日本生物物理学会、日本生理学会、日本蛋白質科学会、日本動物学会、日本農芸化学会、日本発生生物学会、日本比較生理生化学会、日本比較内分泌学会、日本微生物生態学会、日本分子生物学会、日本分類学会連合、日本免疫学会、日本薬理学会（五十音順）